



知夫小中学校
 Tel 08514-8-2015
 Fax // 8-2312
 〒684-0100 知夫村 1053-1
 [HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

三学期参観日・学級懇談会

担当

一月十六日(木)に、三学期の参観日を行いました。厳しい寒さの中ですが、たくさんの方に来て頂き、子どもたちが学習におかう姿を見て頂きました。今学期も教職員一同、充実した教育活動となるよう努めて参ります。引き続き、よろしくお願いたします。



小学部五・六年 総合イベント

小学部五・六年担任

五・六年生は十一月三十日(土)と十二月十四日(土)にイベントを行いました。十一月三十日は、親子でパン作り体験を開発センターで行いました。大人と子ども合わせ、約三十人の方に参加していただき、美味しく楽しい交流をすることができました。十二月十四日は、竹を使った植木鉢作りをしました。この日も約二十人の方に参加していただきました。竹を切ったり削ったりと大変な作業でした。おかげ様で四十個もの植木鉢を作ることができました。

どちらのイベントも沢山の方に参加していただきました。本当にありがとうございます。次回イベントも開催予定ですので、ご参加お待ちしております。

★「知夫里島公園を作る」チーム

小学部五年

今回は多世代交流ができてよかったです。けれど声が小さかったので、次のイベントの時に、教える人としての責任をもって大きい声でやりたいです。

小学部五年

何人来るかわかってなかったけど、当日はしっかりとやれました。だけど声が小さかったり、作業内容が変わったりして大変でした。次は、声を出してやりたいです。



★「パン作り体験」チーム

小学部六年

ぼくはパン作りの企画と運営をしてみ、開催するまでがすごく大変だと知りました。企画書の提出や打ち合わせなども早くやらないといけないことが分かりました。二回目のイベントは一回目を活かしてやりたいと思います。

小学部五年

レクリエーションの時にみんな楽しそうにしていてよかったです。パンを食べる時には、「おいしい」「作るのが楽しかった」と言ってもらえてうれしかったです。



小学部 後期クラブ活動

担当

後期の小学部クラブ活動を紹介します。

★スポーツクラブ

いろいろなスポーツや体を動かすレクリエーションを行いました。バスケットや室内雪合戦、ドッチボールなど、みんなで楽しめるルールを工夫しながら活動ができた他、地域の方をお招きし、モルックやペタンクなど、普段はなかなかできないスポーツも体験できました。



★ハンドメイドクラブ

工作、手芸、調理などの様々なメイキングを行っています。これまで、勾玉作り、ミサンガ作り、紙粘土工作、キーのデコレーションやぎょうざの皮ピザ作りを行いました。各々が個性を生かし、思い思いの形や色合いに仕上げる事ができました。



年間を通し、知夫のひと・もの・ことにも触れる機会となり、子どもたちは充実した時間を過ごすことができました。活動に際し、一緒に参加してくださったり、協力をしてくださったりと、地域の方々、保護者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

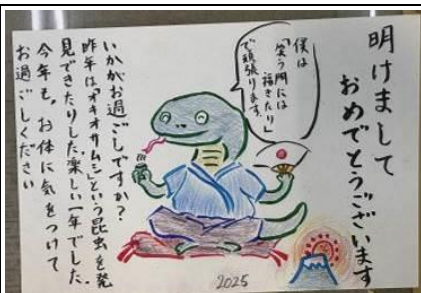
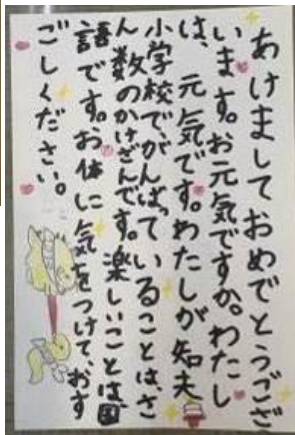


福祉教育「心のはがき」

十二月十三日に、全校で心の年賀状の活動を行いました。小学部では、地域のおじいさんやおばあさんに学校で楽しいことや頑張っていることを書きました。書いているときに、「今年も返ってくるかな」や「喜んでくれるかな」、「いっぱい書きたいことある」と言っている子がいて、見ているこちらでも嬉しい気持ちでいっぱいでした。

中学部でも相手を労う言葉や元気になるような言葉を書いている子が多くいました。子どもたちと地域の方々や年賀状を通して縁ができる活動になっていければと思います。

担当



入賞記録

【島根県硬筆書写コンクール】

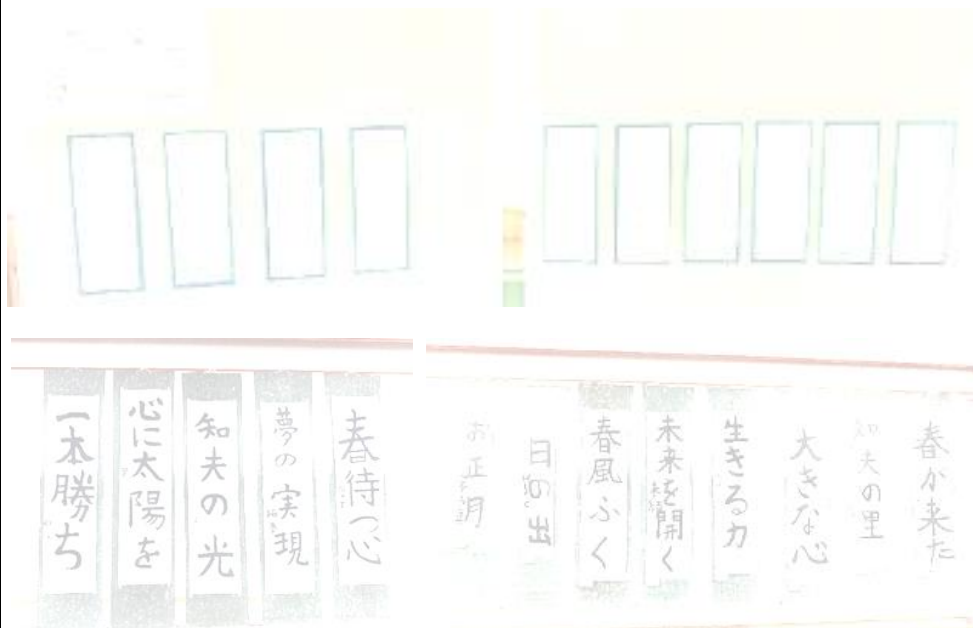
★学校賞

*出品率が90%以上であり、金賞(必ず一名以上)+銀賞の入賞が20%以上という、入賞率の高い学校の中から選ばれます。

小学部 校内書き初め展

担当

新年を迎え、児童たちが書き初めを行いました。自分で決めた目標や思いの言葉を冬休み前から練習し、新年に素晴らしい字を書くことができました。それぞれが上手に書けたと満足そうでした。作品は二階ホールに掲示しました。三年生以上の児童の作品は県内書初め展へ出品します。



学校評価について

担当

二学期末に学校評価を行いました。保護者の皆様にはお忙しいなかご協力いただき、ありがとうございました。結果は「学校は、将来の夢や目標を育てることを意識したキャリア教育の取り組みをおこなっている」、「お子様は、家庭でよく読書をしている」という項目以外は全て、肯定的回答(「よくあてはまる」または「ややあてはまる」)が六割以上という評価をいただきました。「学校は、いじめや不登校防止に対して、適切に取り組んでいる」という項目については、「わからない」という回答が多かったのですが、定期的に来校されるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した取り組みや校内での教育相談の取り組みについて情報発信が不十分だったのではと反省しています。

今回の学校評価と児童生徒及び教職員に行ったアンケート結果を踏まえ、以下について重点的に取り組みを進めていこうと考えています。

① 自立を育む教育

変化が激しく、価値が多様な社会のなかで生き抜くために、子ども達に自立の意識は欠かせません。基礎的な学力は当然ながら、「自分で選ぶ」「自分で決める」「自分から助けを求めるといった主体性を高めていく必要があります。普段の授業をはじめ、日々の教育活動のなかでも子ども達の自立につながる教職員のかかわり方を大切にしていきたいです。

また、学校評価にもありましたキャリア教育の取り組みについても、発達段階に即した職業観を育む学習活動を充実させ、子ども達の夢や目標を膨らめていくことで主体性や自立につながる効果を生み出せるのではないかと考えています。



② つながりを大切にした教育

「小中学校の交流や連携をもっと増やせないか」という意見が子ども達から出ていました。教育課程の特性上、難しいところもありますが、大きな学校行事のみで考えるのではなく、日々の教育活動のなかで「中学生の力を借りてできる学習」「小学生も交えることで活性化する活動」といった小さなところから探っていくようにしていきます。

また、地域を活用した教育活動についても保護者の方からたくさん意見をいただきました。子ども達のふるさと愛を一層高めることができるよう、関係機関と連携を図りながら推進していきます。

自由記述の欄には、今後の学びの在り方や地域と連携した学びの発展など、本校の学校運営を行っていかうえで建設的で貴重なご意見をたくさんいただきました。保護者や地域の皆様のご理解とご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

小学部 なわとび大会にむけて

二月六日(木)に行われるなわとび大会に向け、小学部では「なわとび強化週間」を設けました。縦割り班の班長を中心に、らんらんタイムや昼休みの練習を頑張っています。本番に向け、お互いに応援し合ったり、頑張り認め合ったりしています。体育館だけでなく、ホールでもボードを利用して二重跳びに挑戦しています。

